



おきたま

No. 34

平成17年(2005年)

12/15



夕鶴の里自主事業
実行委員会委員長

山川 正吾氏

語り部養成講座

南場市の夕鶴の里では、語り部を育てる講座として「語り部養成講座」を開催しています。その事業を主催している自主事業実行委員会委員長の山川正吾さんに話を伺いました。

「語り部養成講座は、民話を語ってみたいという市民の声から、実行委員会を結成し活動を始めて、今年で6年目になります。平成17年度は、6月から9月まで全8回を市内外から集まった小中学生6人、大人13人が受講しました。

閉講式では、受講生全員が「ぼたもちびつき」「クモとハチ」など、今までの成果を発表しました。

また、学校への出前講座という形でも開講し、多くの生徒や児童に語りの指導も行っており、発表の場として「民話まつり」も開催しています。

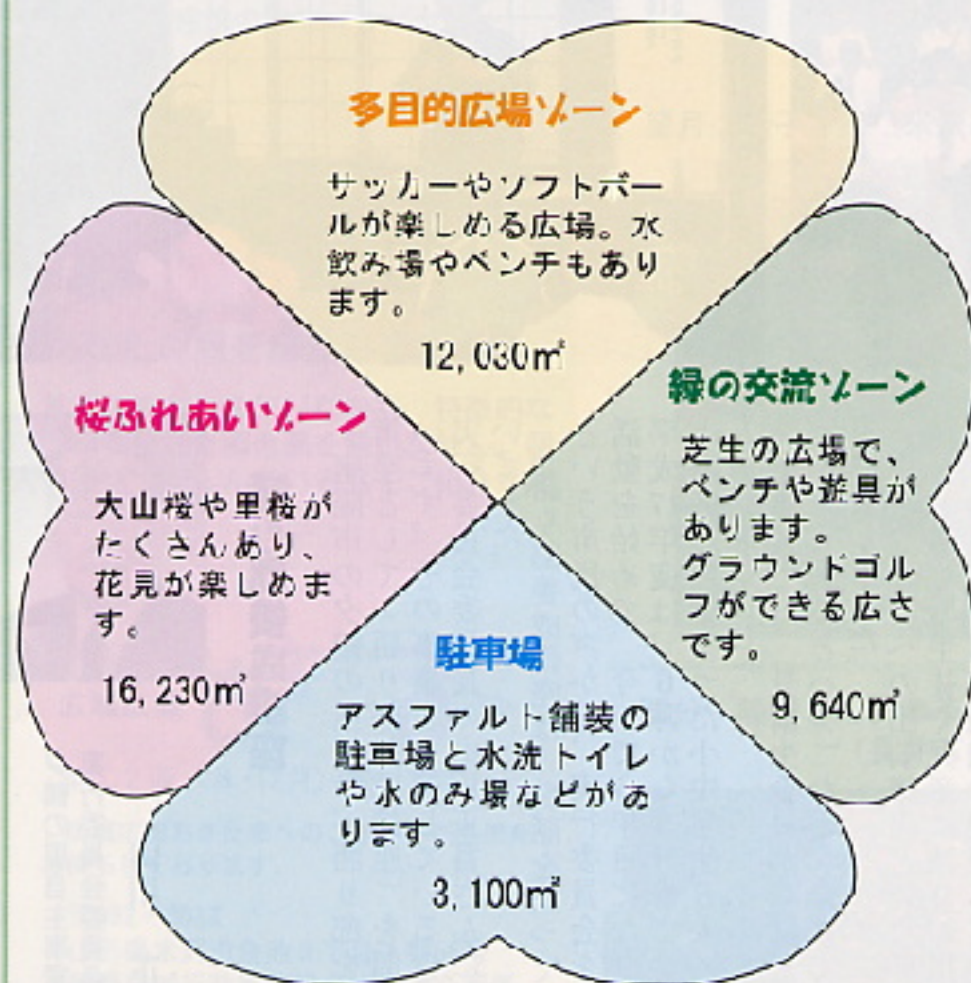
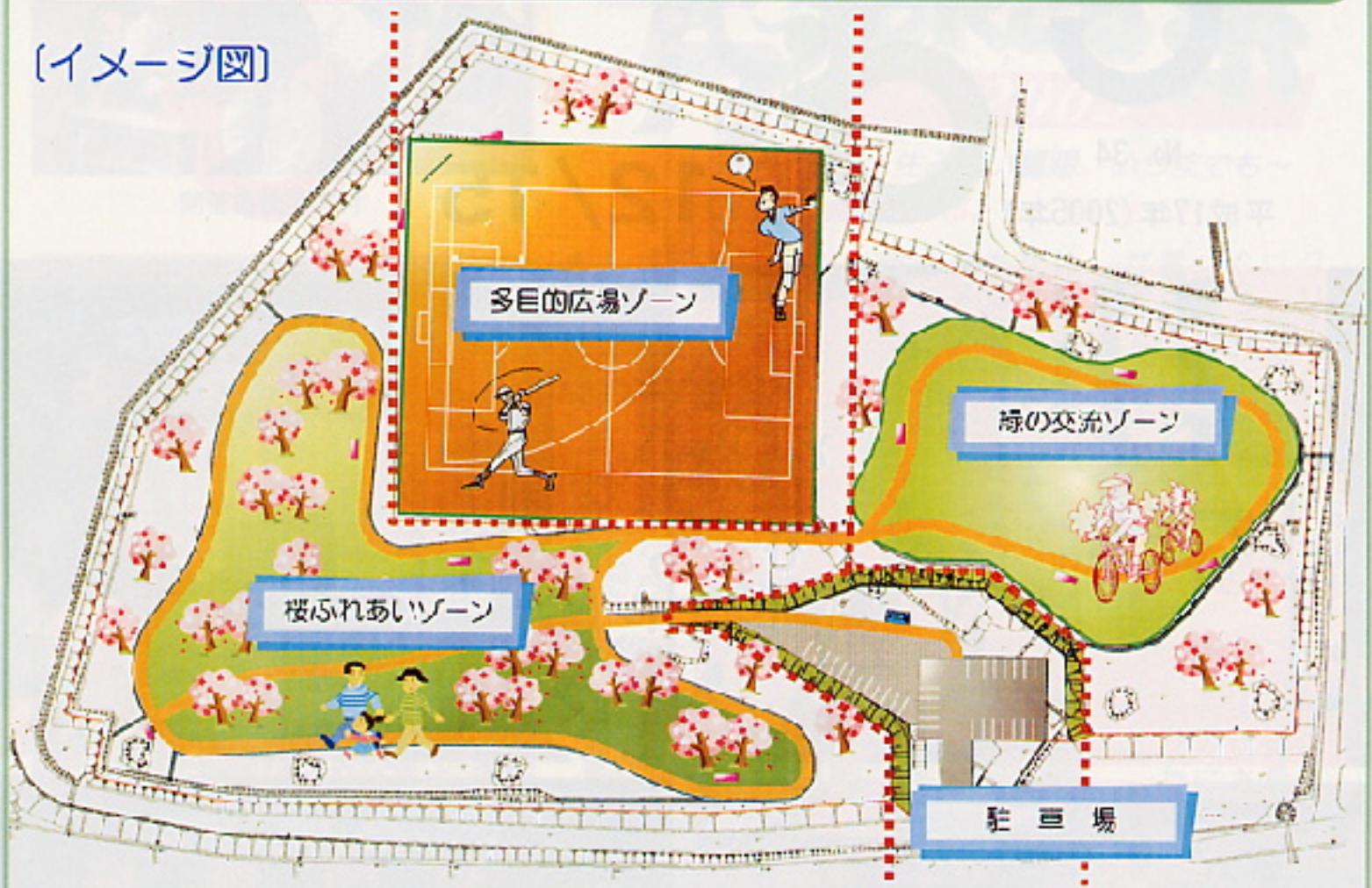
今までの受講生たちの中には、老人ホームで民話を語ったり、自分たちで民話のグループを作って活動するなど、養成講座で習ったことを生かして民話を色々なところで語って、根を広げてくれています。

民話は、祖先からのメッセージであると同時に、子供の心を健やかに育てる力があります。その民話を語り続けることが、豊かな心を持った子供、そして大人を生み出していくと思います。そのためにも、語り部養成講座は、ずっと続けていきたいですね。」

と、話してくださいました。

最終処分場跡地を利用して公園を整備します

(イメージ図)



昭和五十二年度から平成四年度までの十五年間、不燃ごみの埋立地として使用していた、旧浅川埋立地（米沢市大字浅川）の跡地を利用して、皆さんが気軽に散歩や花見が楽しめる公園に整備する計画があります。計画では、（仮称）浅川ふれあい公園として平成十八年の春に着工して、同年秋ごろに完成予定です。

公園として整備する広さは、四万一千㎡で駐車場のほか二つのゾーンに分かれています。

公園の維持管理は、地元の方々の協力をいただきながら、より多くの方が楽しめるように清潔な公園のイメージで整備します。

三つのゾーンと駐車場の概要は次のとおりですが、詳細は次号でお知らせいたします。

置賜広域行政事務組合平成16年度決算報告

本組合の平成16年度決算が11月の議会で認定されました。内容をお知らせします。

一般会計

歳入

3市5町からの分担金	3,462,390,363円
諸収入・繰入金など	21,036,523円
財産収入	39,705,817円
繰越金	48,769,972円
組合債	139,500,000円
使用料及び手数料	776,313,819円
歳入合計	4,487,716,494円

このお金は以下のように使われました。

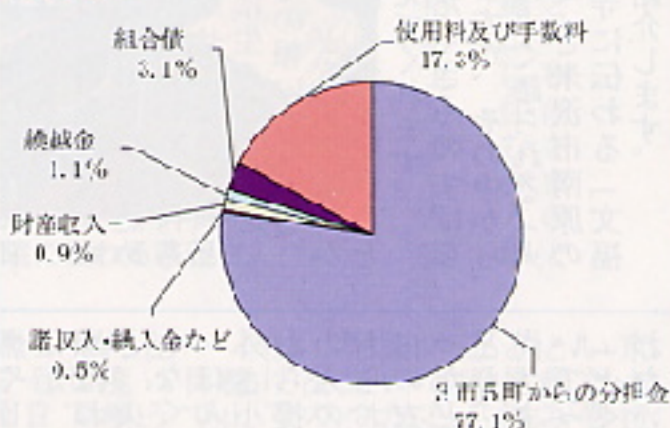
歳出

議会費・組合費ほか	167,002,948円
衛生費（ゴミやし尿処理費）	1,926,459,079円
民生費（養護老人ホーム費）	277,357,191円
電算共同処理事業費	458,895,194円
公債費	1,628,919,349円
歳出合計	4,458,633,761円

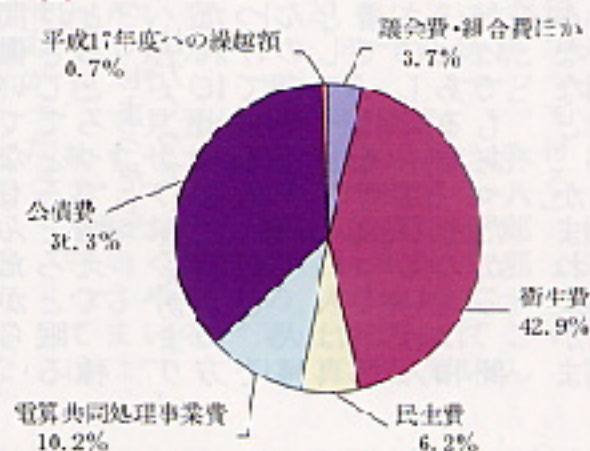
歳入歳出差引額（平成17年度への繰越額）

29,082,733円

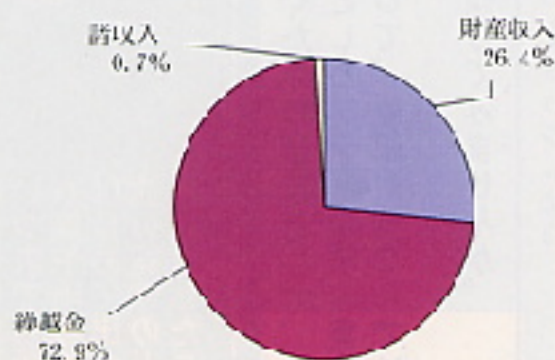
歳入



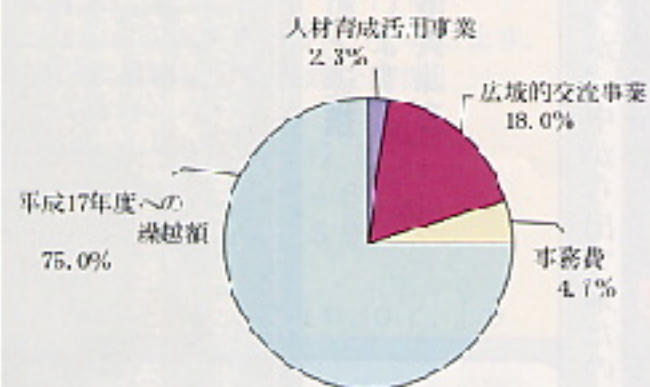
歳出



歳入



歳出



ふるさと市町村圏事業費特別会計

歳入

財産収入	3,849,109円
繰越金	10,641,626円
諸収入	104,055円
歳入合計	14,594,790円

このお金は以下のように使われました。

歳出

広域的交流活動の促進	
・情報発信事業	1,657,257円
・ふるさと再発見事業	968,620円
広域的人材の育成活用事業	
・地域づくり団体支援事業等	336,000円
事務費	689,373円
歳出合計	3,651,250円

歳入歳出差引額（平成17年度への繰越額）

10,943,540円

置賜 風俗 賜 遺跡 再 史跡 発見 自然 見

郷土芸能
第7回

ふるさと心のこころ

次の世代に残したいもの
いつまでも語り継がれていくもの
家族や地域をつなげるきずな
はじめて出会ってもなげか懐かしさを感じる
遠い記憶のどこかにある情景
それは私たちの「こころのふるさと」にあります

置賜広域行政事務組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしていくための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。

ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。

第七回は「置賜の民話」です。置賜にある素晴らしい民話に耳を傾けてみませんか。

民話の歴史

民話は、日本最古の古典「古事記」が書かれた時から、神話とともにありました。亀を助けて竜宮城に行った「浦島太郎」の民話は、奈良時代の初めに書かれた「風土記」に載っています。現在もなお日本中で語り継がれています。

また、民話には、祖先の人々から我々に対するメッセージが込められています。「優しい心の持ち主は、最後には幸せになる」「どんな時も前向きに生きる」「悪いことすると必ずその報いを受ける」など人間として、どう生きていかなければならないのかということをさりげなく教えてくれます。置賜地方には、たくさんのお話があります。その中から「火種をもらった嫁」と米沢市南原の常慶院というお寺に伝わる「文福茶釜」の二話を紹介いたします。

「火種をもらった嫁」

むかし、あるところに、嫁さん来たつけど。

「止月の年取りの家は、オラエ（私）の家では火は消さね家だ」と姑からいわつた。嫁は根っこくべて燃やしたげんども、寝ずの番だつたが、昼間働いてなもんだから、嫁はねぶけさしてとろとろと眠ると、火もとろとろつて燃えて、種もなくなつてしまつた。

ほんで、仕方なくて、考えあまり外さ小使たれに出つて、向うの方から提灯つけて来る人いだつた。その人の来んのを待っていて、火種もらおうとしてつた。その人は真白の衣裳着て、棺を背負つていっただ。さびしいもさびしいげんども、責任はあるし、その人は和尚さまみたいでもあつたから、聞いてみだつた。

「火くれんななど、かまね（かまわぬ）」。ただ火くれんなの代り、

この棺を貰つてらわんなね」といわつた。

「仕様ないもんだから、棺も貰つて背負つて、提灯つと入つて、棺を自分の長持ちさ斤づけで、棺をすぼつと隠しつたけど。そして提灯から火を移して、炬火焚いて知しやね振りしつた。

お正月礼に、正月の四日に実家に行つてこはとハつたげんども、

「お正月礼にいかね」というた。

「来たばかりなのに、お正月礼に行かぬな……」

「オレの代りに、お前ばり行つて来てくれ。」

と聲さいうた。聲もききたいできたハで（変で変で）仕様なくて、なんだのかんだのせめてみつた。実はその聞き棺はオレの長持ちさ人つた。

「そういわつてみたので、長持ちを出して来て見た



ところが、中から出て来たのは、金銀綾錦の着物一そろい、そくつと（そつくり）入つてハつた。んだから、お姑のいうことさ聞かんたねだつた。とうびんと。

（農村文化研究所発行「鶴女居」
武田 正編より抜粋）

民話の季節がやってきた

山形短期大学国文科・
民話研究センター

教授 武田 正 氏

「秋餅むかしの正月ばなし」という言葉が、山形に伝えられている。口の仕草が終わって、新米で餅を搗いて祝うと、（むかしばなし）を語ってやろう、正月になったら楽しい話をしてやろうという言葉である。遠い高い山に雪が見えると、雪迎えの小さな蜘蛛が飛ぶ。こんな季節になると、囲炉裏のまわりに孫たちを集めて、婆さまの語り「むかしあったけど」がはじまる。

雪がちらつく晩には、婆さまの「雪女房」の語りに、孫たちはちよっぴりぶきみさを感じながら聞き入るのである。「とーびんと」という結び句で、一つの話が終わると「もう一つ語れ」とせがまれて、婆さまは「では正月の話でも語るか」と、「火種をもらった嫁」さまに、神のめぐみを与えられた話を出してくれたものである。

もうここまで来れば「もう一つ語れ」と、とめどなく語りの環はひろがって、あそこの寺にまつわる話やこっちの沼にまつわる話にもなり、稲荷さんの裏に時折り姿を見せる狸の話にもなって、聞き手の孫の目は、ますます輝き出すことになる。

婆さまの民話を聞きながら、孫たちはそこから「生き方」を学んだのである。

◆お待ちしております◆

シリーズ置駒再発見では、置駒の風俗、遺跡、史跡、自然、郷土芸能などを紹介する予定です。

みなさんからの情報をお待ちしております。

置駒広域行政事務組合総務課企画係

〒992-0012

米沢市金池二丁目1番55号

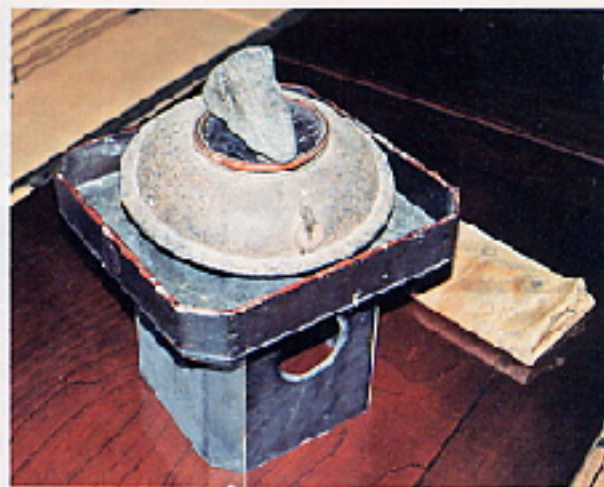
TEL 0238(23)3246

FAX 0238(24)4659

メールアドレス

kikaku@okikou.or.jp

取材協力及び写真を提供していただきました。
夕鶴の里（南陽市）、武田 正氏（南陽市）、
金藤 良一氏（米沢市）、那須野 浩氏（米沢市）



常慶院に伝わる茶釜

「支福茶釜」

むかしだつたど。和尚さまのところに、南原の糠山に住む弥八郎狐がやってきて、「こんど稲荷に格が上がるもんで、

京さ行かんねから、化け方を書いた巻物預かってける」と頼みに来たど。弥八郎狐がこんど昇格するまで、さわぎ立てていいる者がいると、和尚さまも噂に聞いているもんで、弥八郎狐の頼みを聞いたど。弥八郎狐は喜んで京さ旅立つたど。
次の晩に、悪い狐が檀家の者に化けて、
「糠山の狐から預かった巻物を、一目でいいから見せておくやい」というんだと。でも、和尚さまは何度頼まれても、約束を守ってけっして見せねがったど。
七日目に、弥八郎狐が稲荷になつて帰つて来て、
「和尚さま、ありがとうございませした。お礼に、なんぼ使つても寂しお茶釜だほでに、使つておくんやい」と、小さい茶釜置いて行つたど。

その茶釜でかゆを炊くと、病氣もたちどころに治つたものだど。
その後、弥八郎狐に
「見せっだいいものあるので来てけろ」と言われて、和尚さまは、野原に行つてみたど。そしたら、目の前さお釈迦さまやいろいろな仏さまがござつたど。ありがたくて
「あつ、もつたいない、南無阿弥陀仏」
とお経を唱えると、あつという間に消えてしまつたど。和尚さまの側には、蓋のない茶釜と石が残つたけど。

（農村文化研究所発行
「鶴女房」

武田 正編より抜粋）



語り継ぐことの大切さ、昔から、文字ではなく語りによって伝えられてきた民話は、時が経つにつれて継承者がいなくなり、風化してしまふことも少なくありません。置駒の心、知恵を表している民話を通して、親と子のふれあいをもち、豊かな心を育むために、次世代に語りつないでいきたいと思います。

11月議会定例会を開催

本組合11月議会定例会が去る11月21日に開かれました。

この議会では、平成16年度一般会計継続算書精算書が報告され、専決処分事件と平成16年度一般会計及び特別会計決算が原案どおり承認、認定されました。

また、平成17年度一般会計補正予算と特別職及び一般職の職員の旅費条例の一部改正が原案どおり可決されました。

なお、11月議会定例会では、次の諸願を審査した結果、継続審査となりました。

◆千代田クリーンセンター兼入路の改良工事について

(清願者 東置賜郡高島町大字夏茂848

夏刈部落長 菊地 俊二)

指名競争入札参加登録申請
(追加分)の受付について

平成18年度に行う①建設工事、②設計・測量コンサルタント、③物品納入及び役務提供の指名競争入札参加の登録申請(隔年制のため追加のみ)を受付けます。

▼受付期間
平成18年2月1日～2月28日

(郵送可、当日消印有効)

▼申請先
米沢市金池三丁目1番55号
置賜広域行政事務組合 総務課庶務係

TEL 0238 (23) 3248

▼必要書類
次の方法により配付します。

1. 本組合総務課庶務係又はクリーンセンター 等各施設で直接
2. 郵便切手(80円)を貼付した返信用封筒を本組合総務課庶務係に送付
(①・②・③いずれの申請区分かを明記してください)
3. 本組合ホームページからダウンロード

URL: <http://www.okitama.or.jp>

おきたま座談会が発足

新置賜広域ふるさと市町村圏計画広域活動計画に基づく「ふるさと再発見事業」を推進するため、置賜3市5町で様々な地域づくりに取り組んでおられる16名の方々に委員とする「おきたま座談会」が去る11月1日に発足しました。

この事業の目的は、埋もれている地域資源等を再発見し、置賜地域の活性化につなげていこうとするもので、座談会では、今後、地域資源等の見直しを行い、平成18年度中に広域的なルートマップを作成します。第1回目の座談会では、委員長、副委員長、委員長の互選と今後の進め方を協議し、委員長には遠藤 英さん、副委員長には山上一 敏さんと平林しのぶさんが選ばれました。座談会の委員は次の方々です。

- | | |
|----------|---------|
| 飯酒 金久美さん | 澤田 真澄さん |
| 石塚 千里さん | 二瓶 宥基さん |
| 遠藤 英さん | 平林しのぶさん |
| 大泉 幹大さん | 山一 敏さん |
| 大木 伸一さん | 山下 和枝さん |
| 木村 陽了さん | 横山 直幸さん |
| 後藤 栄俊さん | 渡辺 重信さん |
| 佐藤 忠志さん | 渡部 広子さん |

(50音順)

奥南陽の冬の風物詩
「吉野イルミネーション」

このイベントは、市の北部・吉野地区に多くの方に訪れてもらい地域の活性化にと、地元有志らが中心になって5年前にスタートしたものです。地区を縦断する県道が、イルミネーションにより幻想的に光り輝きます。中でも、荻小学校グラウンドに立つ高さ25メートルの木の木は、このイベントのシンボルツリーとして、一際目を引く存在です。

皆さんも、今夜はちょっと寄り道して光り輝くイルミネーション街道をドライブしてみませんか。

- ▼日時 平成18年1月7日(土)まで毎夜点灯
- ▼場所 南陽市吉野地区
- ▼問合せ先 吉野公民館 TEL 0238 (41) 2001



年末に自己搬入ごみを受付けます

千代田クリーンセンターと長井クリーンセンター及び小国リレーセンターでは、12月20日(木)に自己搬入ごみの受け付けを行います。


- ▼受付時間 午前9時～正午
午後1時～4時

- ▼料金 金 10kgにつき100円
※当日は相当混雑が予想されます。自己搬入の受け付けは、土日・祝日を除く平日も行っておりますので、混雑の解消にご協力ください。※産業廃棄物の受け付けはできません。


- ▼お問い合わせ
千代田クリーンセンター
TEL 0238 (57) 4004
長井クリーンセンター
TEL 0238 (84) 6911
小国クリーンセンター
TEL 0238 (63) 2251

おきたまごよみ


12月(師走)

- 11月13日～1月7日  言野イルミネーション (南陽市吉野地区)
11日 コリヤ・ブラッハー&紀尾井シンフォニ
エッタ東京 (長井市民文化会館)

1月(睦月)

- 1日 川西町元旦マラソン大会 
(川西町民総合体育館周辺)
4日～2月19日
コレクション展「もっと親しむ美術-コレク
ションでみる素材と技法-」
(米沢市上杉博物館)
14日～16日 ふるさといいで里帰りツアー
(飯豊町白川荘)
15日 たかはた冬まつり
「わらじみこし・お斎灯焼き」
(高島町平和緑結び通り商店街ほか)
25日 亀岡文殊「星まつり」
(高島町亀岡文殊)
27日 万作の会狂言公演 (米沢市伝国の杜)

2月(如月)

- 上旬 稲荷森古墳冬まつり 
(南陽市稲荷森古墳広場)
上旬 まほろば冬咲きボタンまつり
(高島町太陽館)
4日 白鷹学講座パート6
「おすぎのソネマトークショーと映画上映会」
(白鷹町パワーセンター白鷹)
5日 雪中サッカー大会
(白鷹町東陽の玉グラウンド)
中旬 たかはた冬まつり「スノーフェスタ」
(高島町太陽館)
11日 東北学生音楽祭
(川西町フレンドリープラザ)
11日～12日 第29回上杉雪灯籠まつり
(米沢市松が岬公園一帯及び市内一円)
11日～12日 雪灯り回廊まつり (長井市タス)
19日 伝国の杜新春寄席 柳家花緑独演会
(米沢市伝国の杜)
26日 伝国の杜演劇ソークショップ公演
(米沢市伝国の杜)
23日 (予定) 中津川雪まつり
(飯豊町中津川小中学校グラウンド)


3月(弥生)

- 上旬 雪の学校 (小国町五味沢地区)
上旬 いいで雪遊び&スノーモービル体験
ツアー (飯豊町白川湖岸公園付近)




- 3日～26日 わが家のひな人形展
(川西町フレンドリープラザ)
7日 ベルリン・フィルハーモニー・プラス・
クインテット (米沢市伝国の杜)
19日 こども狂言クラブ発表会
(米沢市伝国の杜)
19日 フレンドリープラザ演劇教室定期公演
(川西町フレンドリープラザ)
21日 デビュー!クラシック～置賜の若手演
奏家によるコンサート～
(米沢市伝国の杜)
21日 こまつ座公演「兄弟」
(川西町フレンドリープラザ)
26日 長井市少年少女合唱団ミニミュージカ
ル (長井市民文化会館)

4月(卯月)

- 上旬～下旬 さくらまつり 
(長井市伊佐沢久保桜ほか)
中旬～下旬 古典桜の里・桜まつり
(白鷹町釜の越農村公園ほか)
15日 市指定無形民俗文化財・鍋田念仏踊り
(南陽市大符神社)
29日 (予定) 源流の森オープン
(飯豊町源流の森)
29日～5月3日
米沢上杉まつり (米沢市松が岬おまつ
り広場、市内目抜き通り)
下旬 春の観音岩散策会
(高島町二井宿観音岩)
下旬～5月上旬 ヤナ開きまつり
(白鷹町ヤナ公園)

5月(皀月)

- 上旬 スカifestイバル in 南陽 
(南陽スカイパーク)
上旬 春の童話まつり (高島町浜田大介記念館)
上旬 ソフトボールフェスティバル
(白鷹町ソフトボール場)
1日～5日 おぐに石楠花まつり
(小国町道の駅白い森おぐに)
4日 熊まつり (小国町梅花皮荘周辺)
10日頃～ 白つつじまつり
(長井市白つつじ公園)
14日 全国白川湖畔マラソン大会
(飯豊町白川湖岸公園周辺)
中旬 白つつじマラソン
(長井市民文化会館前スタート)
中旬 観光わらび園開園
(小国町各観光わらび園)
最終土曜日 ながい黒獅子まつり
(長井市内目抜き通り)

くりにいとまつり CRE8祭 2005

～リサイクル 住みよい置賜 いつまでも～

多くのご来場ありがとうございました。



開催直後の受付



抽選会の様子



大盛況のフリーマーケット



楽しい寸劇もありました

去る9月25日(日)千代田
クリーンセンターを会場
に「おきたま環境フェア
CRE8まつり2005」
(山形県、置賜三市町、
置賜広域行政事務組合主催)
が開催されました。

今年度は「リサイクル
住みよい置賜いつまでも」
をテーマに、リサイクル
推進や環境保全と取り組
む各種団体の展示や寸劇
また再生品抽選会や電気
自動車、試乗会、フリー
マーケット等のイベント
を行いました。

また、
このイベントを通して
ごみの減量化やリサイク
ルの大切さについて、住
民の方々に理解を深め
ただけたのではないで
しょうか。

中でも再生品抽選会では、
昨年を上回る多くのご応募
をいただきました。当
日は悪天候にもかかわらず
二千人を超えるたくさ
んの方のご来場をいただ
き誠にありがとうございました。

おきたま庭めぐり

あなたの庭を紹介しませんか

草花や庭木のきれいなお宅、特徴的な
庭づくりなど白鷺地蔵を問いません。個人
や団体が楽しんでいる庭をご紹介します。

望月 隆子さん(米沢市御南)



お花の季節は、眠ってられない
ほどの早起きです。新鮮な朝の空
気とお花は、いやしのひとときです。



広域広報 **おきたま** は

年に2回(8・12月)発行です。

広域広報おきたまへのご意見・ご感想を
お待ちしております。

☎992-0012

山形県米沢市金池3丁目1番55号

置賜広域行政事務組合総務課企画係

電話 0238-23-3243

FAX 0238-24-4659

E-mail kikaku@okikou.or.jp

URL <http://www.okikou.or.jp/>

國分 隆司さん、幸子さん
(長井市台町)



6月の休日には、オープンガー
デンをやっています。手づくりの庭
に一度おいでください。

